

農業振興活動

安全・安心な農産物づくりへの取り組み

食の安全・安心確保に向けて、農産物の生産情報の開示を行えるよう生産履歴記帳を徹底し且つ、定期的に残留農薬検査を実施し、安全・安心な農産物の供給体制整備に取り組んでいます。

担い手・新規就農者への支援

担い手専任担当者 (MAP) 7名及び営農指導員22名を配置して、担い手、新規就農者へさまざまな情報の提供や営農相談、事業提案など、総合事業による経営支援活動に取り組んでいます。

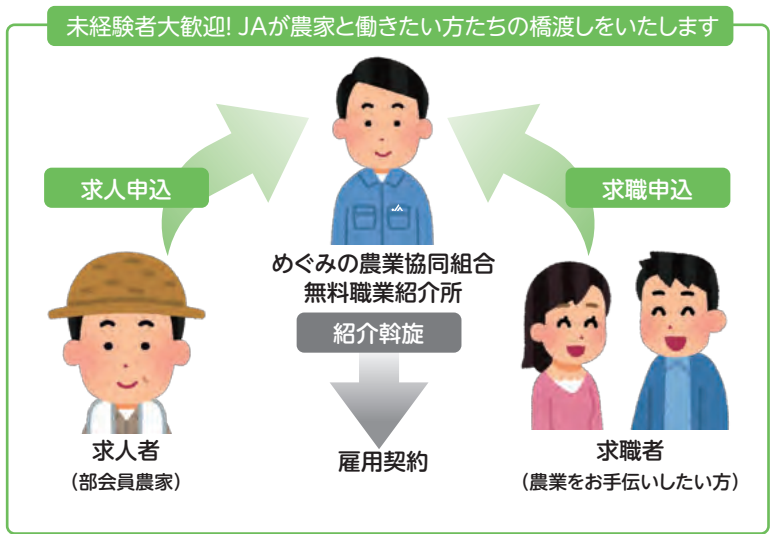
また、新たに就農を希望される方への支援として、「就農塾」「JA実証圃」「郡上トマトの学校」による新規就農者研修を実施しています。就農塾では、夏秋トマト・夏秋ナス・里芋などめぐみの管内の主要農産物の就農者育成を実施し、延べ受講生は343人で内213人が就農されました。



また、平成28年度に開校した「郡上トマトの学校」では、2年間の研修を実施し、これまでに7名の方が郡上地域で就農されます。

労働力確保への取り組み

農業に関する労働力確保の支援策として無料紹介所を開設し、インターネットサイト、広報誌、地元ケーブルテレビ等を活用し、農業を手伝ってほしい農家と、農業を応援したい方との仲介をしております。



地域活性化のための地域密着型金融への取り組み

「農業所得増大への貢献」を当JAが担う重要な役割の一つと位置づけ、農業融資担当職員と営農担当職員が連携し、JA独自の資金である「アグリサポート」や、行政と連携し農業者を支援する「農業制度資金」を活用した融資を行うことで、農業経営の改善や新規作物分野への取り組み等のコンサルティングを実施しています。また新規就農者に対しては、「新規就農支援資金」を通じ農業次世代人材の育成に積極的に取り組んでいます。一方、住宅ローン・マイカーローン等の生活資金を取り扱うローンプラザでは土日営業を行っており、専門職員(ローンアドバイザー)によるきめ細やかなサービスの提供を通じて、様々なご要望への対応に取り組んでいます。



●農業関連資金の取扱状況

農業者による経営規模拡大や経営改善等に必要な資金への対応として、「アグリサポート」「農業近代化資金」「日本政策金融公庫資金」等の農業関連資金を取り扱いしています。

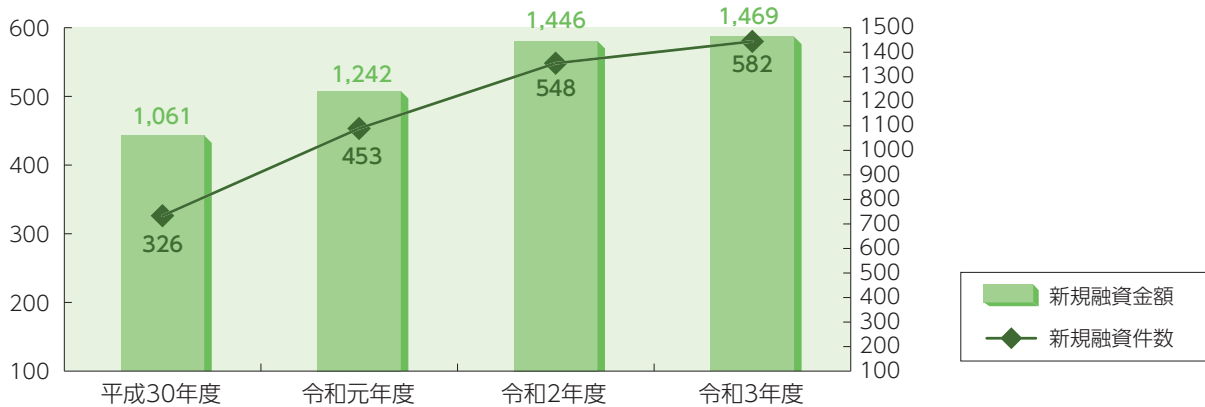
(単位:百万円)

資金名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
アグリサポート	1,061(326件)	1,242(453件)	1,446(548件)	1,469(582件)
農業近代化資金	100(23件)	72(21件)	28(10件)	14(8件)
日本政策金融公庫資金	10(1件)	290(34件)	399(40件)	495(36件)

※令和元年度より日本政策金融公庫資金H方式による取り扱いを含めています。

アグリサポート資金の取扱推移

(単位:百万円、件)



(主な農業関連資金の概要)

資金名	資金の使いみち
アグリサポート	農業経営等に必要な設備資金および運転資金
農業近代化資金	農業改善のため、施設の取得や農機具・家畜等の購入をする場合や長期運転資金を必要とする場合など
農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金) ※日本政策金融公庫資金	認定農業者の方が、資金規模が大きく償還期間が長い資金を必要とする場合や、農地を取得する場合など
青年等就農資金 ※日本政策金融公庫資金	新たに農業経営を開始する方が、認定就農計画の目標達成を図るための資金を必要とするとき

●地域に貢献する商品の提供

令和3年4月～5月に、『JA農産物直売所応援定期貯金』を販売しました。管内の直売所・Aコープでご利用いただける「農協全国商品券500円券」を預入金額30万円につき1枚進呈する商品です。

また、令和3年10月～11月には当JAの特産品等の特典とした『秋の恵み 美味しいもん祭定期貯金』を販売しました。ご契約いただいた方へ、令和4年10月～12月にかけて「おくみのこしひかり」^{うま}、「明方ハムセット」^{みょうがた}、「サンふじりんご」を商品取扱支店より順次お届けします。

低金利が続くなか、地元農畜産物を応援するJAならではの金融商品の提供に取り組んでいます。



地産地消・食農教育の取り組み



「食」がもつ多様な役割の大切さを伝える「食農」に「食」を支える根本である農業に関する知識・体験も含んだ「食農教育活動」に力をいれています。

管内小学校が行う米づくりや野菜栽培に支援・協力しているほか、大豆の栽培・収穫・加工を体験する『まめなかな運動』では、希望する管内の小学校に対し、営農指導員が栽培や収穫を指導するほか、女性部食農リーダーによる加工支援を行っています。

また、地元高校と連携して、地産地消の推進にも取り組んでいます。

農業祭等の開催

管内の市町村と連携し地域ごとの特色を生かした農業祭・産業祭の主催・後援・協賛を行い「食と農」の啓蒙活動に取り組んでいます。また、ファーマーズマーケット『とれたたひろば』では、農産物の旬にあわせたイベントを定期的に企画し、大勢の来場者を集めています。

農業普及活動



各地域に営農経済センターを設置し、農業の専門知識を持った職員が、農産物の栽培指導や、経営にかかる相談業務などを行っています。

野菜ごとの産地化をすすめ、少量からでも出荷してもらえるよう、農産物直売所を各地に設置しています。

「持続可能な農業」への取り組み

地域の「持続可能な農業」に向け、農業経営に係わる課題に対して農業生産の効率化（スマート農業）、農業リスク軽減、労働力の確保を提案し支援を進め、中山間地域では集落営農・法人化を支援し農業所得向上を目指しています。

農畜産物のめぐみのブランドの確立・六次産業化への取り組み

農業所得向上に向けた産地の生産維持と拡大を目標とし、主要品目の生産基盤強化と面積拡大を図り、新たな販路開拓、拡大による販売単価の向上に向けた事業に取り組んでいます。

また、管内で生産された農産物に付加価値を高め、生産農家の所得向上を図るため加工品の開発研究に取り組んでおり、管内の直売所での販売を実施しています。

また、六次産業化に取り組む農家に対し、食品表示・HACCP制度などの指導、販路開拓・原料供給等の支援を行っております。